



# 学校だより

令和5年度 第10号

令和6年2月1日発行

東京都立王子特別支援学校長

久保井 礼

## 「スクールバスについて」

高等部副校長 窪田 隆徳

現在、令和6年度のスクールバスの運行に向けて最終的な調整中です。この間、バスコースやバス停の変更等に御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、安心安全な運行に向けて尽力してまいります。

さて、バスの運転手不足や燃料の高騰等の社会情勢で、スクールバスの運行は年々厳しい状況となっており、車内への置き去り事故などもニュースで取り上げられています。学校ではこうした事故を防ぐために、乗降車を二重三重でチェックをしたり、置き去り防止装置や車内カメラを搭載したりするなど、安心・安全な運行の取組を行っています。そして、運転手及び添乗員には定期的に研修を行うなどのサービスの向上も目指しており、さらに運行業務については教員だけでなくスクールバス支援員という職を設けて、運行会社と連携しながら、より丁寧で円滑なスクールバス業務を行っています。

私が初任者の頃、当時の校長先生からスクールバスのバス停はなぜそれぞれの家の前ではなく拠点方式なのかを尋ねられたことがありました。うまく回答できなかった私に対してその校長先生は、家からバス停までの道のりが、児童・生徒にとって社会と触れ合う第一歩だと教えていただきました。スクールバスの利用、車での送迎、移動支援による送迎、放課後等デイサービスの利用、付添登下校、一人通学、公共交通機関の利用など、様々な登下校手段を通して、児童・生徒が社会と触れ合い、世界を広げていくことができるように、今後も御協力くださいますよう、よろしく申し上げます。

## 「高等部文化祭」

文化祭担当主任 片岡 宏介

今年度の文化祭のスローガンは、

「完全燃笑」～笑顔・輝く・文化祭～

でした。実行委員が中心となり各学年、各クラスから募集をして決まりました。完全燃焼の「焼」が“笑”になっており、高等部の生徒一人一人が笑顔で取り組もうというだけでなく、参観していただく保護者の方々も笑顔になってもらいたい、という想いが込められていました。文化祭当日、緊張感をもちつつも練習の成果を十分に発揮し、真剣に取り組む笑顔で退場する生徒たち、そして舞台発表を見て笑顔で会場を後にする保護者の方々、まさに「完全燃笑」の文化祭でした。

## 「支援を見直す時期」

特別支援教育コーディネーター

鈴木 孝子

学校では年度末に、「学校生活支援シート」に基づく支援がどうであったか、等の振り返りを個別面談で行います。できるようになったこと、芽生えてきていること、中には習得までにまだ時間が掛かりそうなこともあるかも知れません。それらを踏まえて、来年度の中心課題のすり合わせを行い、引き継いでいきます。同じように、障害福祉サービスを御利用の方は、「モニタリング」という面談を通して、個別支援計画の見直しを行うかと思えます。お子様の現在の姿に合った望ましい支援体制を、関係者で相談しながら構築していきましょう。

日	曜	行事等			
		全校	小学部	中学部	高等部
1	木	安全指導日	笑顔と学びのプロジェクト	笑顔と学びのプロジェクト	職場体験始(1)
2	金	保護者向障害基礎年金講座			笑顔と学びのプロジェクト
3	土				
4	日				
5	月				
6	火	入学相談(高)			休業日
7	水				
8	木				
9	金			社会見学(3)	
10	土				
11	日	建国記念の日			
12	月	振替休日			
13	火	避難訓練(火災)			進路保護者会(2)
14	水	1日入学(小中0便)			特体連ハット大会
15	木	心身保健相談			特体連ハット大会
16	金	PTA第4回役員会			社会見学(3)
17	土				
18	日				
19	月	学校運営連絡協議会	ALT(4 6)		
20	火				ビジネスマナー講習会(2)
21	水	1日入学(小中0便)	ALT(5)		ALT(1 3) 進路保護者会(1)
22	木	個人面談始(1便下校) PTA第4回運営委員会		ALT(1 3)	入学予定者発表
23	金	天皇誕生日			
24	土				
25	日				
26	月		ALT(3 6)		
27	火				
28	水	個人面談終(1便下校)	ALT(5)		ALT(1 3) 職場体験終(1)
29	木				

## 「小学部報告」 小学部主幹 大場 崇博

小学部5年生で「清掃教室」が行われました。キャリア教育の一環として外部専門員の方をお迎えし、清掃道具の使い方を体験しました。また、5年生保護者を対象に「進路懇談会」を行い、高等部卒業後の進路や社会参加に向けて現在取り組んでおくことなどの情報を聞きました。高等部卒業後のことを「先の話」とするのではなく、このような機会を生かし、卒業後の生活を意識していくことも大切です。

## 「中学部報告」 中学部主幹 植松 友規

『一月は行く・二月は逃げる・三月は去る』とも言われ、あっという間と感じてしまう学期ですが、充実した生活になるようにしていきましょう。1年生の体育では寒い中、元気に校庭を走っています。2年生は企業と連携した喫茶接客体験『たんぽぽカフェ』の実施に向けての取り組みが始まりました。3年生は社会見学『スカイツリー方面』の学習で、安全な歩行や交通機関の利用の経験を重ねています。

## 「高等部報告」 高等部主幹 竹内 徹

文化祭の御参観ありがとうございました。直接練習の成果をお見せできたこと、温かい拍手を受けたことが、生徒たちには貴重な体験となり、その緊張感と達成感がきっと心の成長につながります。今月は、1・2年生は引き続き実習が、そして3年生は16日に社会見学があります。また、2日は「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、生徒対象にダンスユニットを招いた観賞&ダンス教室もあります。詳しくは、本配布のチラシをご参照ください。